

## 5 全体会 SENA 報告

*San-En-Nanshin Summit 2017 in Minamishinsyu*

### ■ SENA 報告

「三遠南信広域連携研究会に関する報告」

「三遠南信地域連携ビジョンの評価検証にかかる中間報告」

#### SENA 事務局長 藤野 仁

昨年のサミット宣言に盛り込まれました広域連携強化に向けました研究会を本年度立ち上げ、活動してまいりました。その研究成果を研究会でまとめましたので、SENA 事務局からその内容をお伝えいたします。

この研究会は、三遠南信地域の35市町村全ての行政の担当課長で構成し、本地域に適した広域連携事業と、それを実現するための体制について、情報の研究・整理を行いました。

研究会は3回開催し、その間、構成市町村へのアンケート調査を実施しております。

アンケート調査によりますと、この地域では地方自治法に基づきます共同処理が173件、任意の広域連携が59事業実施されておりました。これらの広域連携事業を調査したところ、観光、防災、移住・定住、そして、農産品といった分野に期待が多いという回答がございました。これらの4分野の事業を例に、現行の制度による体制に適するものを想定いたしました。

観光につきましては、地域一体の観光プランの策定やプロモーション事業をイメージしまして、体制として、協議会、事務の委託、広域連合などの相性がいいだろうということになっております。

その他の三つの分野については、御覧のとおりでございます。

今後でございますが、この研究会の活動につきましては、例えば、体制ごとの財政シミュレーション等のメリットとデメリットの比較、さらにはモデル事業のいずれかを試験的に運用していくことで具体的な検証などが考

えられるだろうという報告書になっております。

詳しくは SENA ウェブサイトに公開しておりますので、御覧ください。

続きまして、三遠南信地域連携ビジョンの検証報告をさせていただきます。

資料の「中間報告概要版」を御覧ください。

三遠南信の地域づくりの指針とも言うべき現在のビジョンの計画期間が平成29年度をもっておおむねの満了を迎えます。このことから、現在、ビジョンの検証を行っているところでございます。

この検証作業は愛知大学に進めていただいておりますので、愛知大学三遠南信地域連携研究センターの村山研究助教から報告します。

#### 愛知大学 三遠南信地域連携研究センター 研究助教 村山 徹

次期ビジョン策定に向けた愛知大学と SENA の共同研究の中間報告について、簡単に資料案内だけさせていただきます。

資料「中間報告概要版」の中に、それぞれ資料①②③と番号が書かれているかと思いません。今年度、共同研究としまして、三つの調査研究を行いました。資料それぞれ①②③が、その調査結果の概要版になります。各調査の完全版は、SENA ウェブサイトからダウンロード可能になっておりますので、詳細はそちらで確認いただき、後の議論等々で御活用いただければ幸いかと存じます。

加えて、三遠南信地域連携センターでは、現在、「図説三遠南信の姿」というデータブックの作成を進めております。このデータブック完全版は次年度はじめの発行を予定し、現在準備を進めております。本日はそのパイロット版の資料を配布させていただいております。

すので、もし御興味がおありでしたら、愛知  
大学三遠南信地域連携研究センターにお問い  
合わせください。

最後になりますが、今回の参加者の皆様を  
対象としたアンケート調査として1枚のA4用  
紙を配布しております。こちらに御記入いた  
だいた情報は、次期ビジョン策定に向けて役  
立てる方針でおります。ぜひ御記入いただき、  
会場にありますビジョンブースの回収箱に御  
提出いただきますよう御協力のほど、よろし  
くお願いいたします。